
黒、白。【短編編?】

antinomy

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒、白。【短編編？】

【ノート】

N9633S

【作者名】

anttinomy

【あらすじ】

絶無は何も司らない神のような存在であった。彼は人を改心させるために

苛立たしい。

ムカツク。

この憂さを晴らすため、私は部下を叩いてクビにしてきた。

一番の至福だ。

そんな時私は。

一本の小さな光を見た。

神からの思し召し？

日頃の何かか………

その光を抜け、進むと。

『こんにちは！』

「……………」

元気な女の子のような少年がいた。

『これから、おじさんにすっばらしいー世界を見せちゃうね』

「素晴らしい？元に戻せ！」

『問答無用！』

そう言うと、ガキは消え、一面が真っ白になった。

そこは。

いつもの会社。

「なんだ、帰してくれたのか」

キヤアアア、と歓声。

私のデスクの方からだ。

これは

いじめなんてなく。

今の私なんて全否定。

普通の。仲の良い会社。

「・・・・・・・・」

そう、例えるならまつさらな雪。

そこに。

私が。

大変だ。

これは、“雪の上”に“悪魔”が降り立ったような・・・・・・・・
まつさらな雪は、悪魔により白さを失った。

『どーだった？』

「ど、どうって」

『自分なんかいらないうって思った？』

「・・・・・・・・」

『戯言だよ。じゃ、次いこっか』

「ま、まて！家に返せ！！」

今度は。

私がひどくなり、さらには部長までもいじめに参加するという世界。

「これは、ひどい」

だが、そこに。

救いの手が。

暗闇に光がさしたのだ。

「これで平和じゃないか」

『そーいうの、偏見ーって言うんだよ。』

僕の一番嫌いなタイプ!』

「ああん?」

こいつ、いつのまに?

『救いの手もいつかはいじめの標的へと変わる。』

それが社会だ、違わないかな?』

「残酷、だな」

その一言に少年は酷く苛立ちを覚えたらしく、

こちらをにらみつつ続けた。

最後は灰色の世界だという。

私はほぼ分かっていたので、少年を背に進んだ。

『どーだった?全部の世界見て』

「.....」

『まだ難しいかあ』

「俺でも、改心、でき」

『無理』

「!?!?」

『無理無理駄目駄目絶対不可能。はつきり言う?事実行っちゃう?。逝っちゃう?言っちゃう?云っちゃう?』

「なっ」

『あなたは

』

足元が闇になっていく。

体が冷える。

寒い、誰か、助けて。

『
ですよ』

なんて、いった……？

誰か！

誰か!!

『そうやって地獄でも足掻くといいよ』

「助けっ！」

『足掻いたところで君は救われない。』

ずっと。一生。永遠に。永久に。』

「いや……だ！たす……けて……く……れ」

『命乞い？ごめんね、それは矛盾アンチノミーに言ってくれるかな？』

僕は規格外だよ』

もう首まで闇が染まる。

『さよなら』

ドブン

『
あなたは

もう既に死んでるんですよ（笑）
』

(後書き)

ゼロちゃん最強説

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9633s/>

黒、白。【短編編?】

2011年10月3日11時20分発行